

	契約係用
○	業者用

業 務 委 託 仕 様 書

件名 東西線 8000 形車両ヒ一夕整備

札幌市交通局高速電車部車両課大谷地検修係

担当者 佐藤 暁

TEL 891-3223 (内線 8416)

仕様書番号 札交車 22 第 2191 号

1 適用

本仕様書は、東西線8000形車両のヒータ整備に適用する。

2 業務実施場所

札幌市交通局高速電車東車両基地

札幌市厚別区大谷地東6丁目1番1号

3 履行期間および作業時間

履行期間は、契約書に示す開始の日から令和5年1月31日までとし、作業の実施日は別途打ち合わせにより決定する。また、作業時間は8時45分から17時15分までを原則とする。

4 業務単位

1編成単位とする。

5 数量

22編成（1編成あたりのヒータ数・・・運転室6台、客室78台）

6 業務内容

(1) 乗務員室ヒータ

ア 蓋を取り外す。

イ ヒータを気吹き、機器の破損、変色の有無、ヒータの取り付け状態を確認する。（別紙「年検整備マニュアル8000形」の「六 へ」項に準じて点検を行うこと。）

ウ 終了後、委託者により整備状態の検査を受ける。

エ 委託者による検査終了後、蓋を取り付け作業終了とする。

オ 作業中、各部に異常が認められた場合には委託者へ報告すること。

(2) 客室ヒータ

ア 客室腰掛を取り外し、ヒータのロックを外す。

イ ヒータの外枠及び内側を掃除機で清掃する。

ウ 清掃終了後、電源コネクタの接続、機器の破損、変色の有無、ヒータの取り付け状態を確認する。（別紙「年検整備マニュアル8000形」の「六 へ」項に準じて点検を行うこと。）

エ 終了後、委託者により整備状態の検査を受ける。

オ 委託者による検査終了後、客室腰掛を取り付け作業終了とする。

カ 作業中、各部に異常が認められた場合には委託者へ報告すること。

7 経費の負担

本業務の履行に要する経費のうち、電気等は委託者の負担とし、その他、本業務に必要な全ての経費は受託者の負担とする。

8 提出書類

契約締結後、次表に定める書類を提出すること。

提出書類	部数	提出期限	備考
業務着手届	1	着手と同時	第8号様式
業務日報	1	作業日毎	
検査成績書	1	作業日毎	
実施報告書	1	作業日毎	第11号様式
業務完了届	1	対象編成すべての作業終了時	第13号様式
その他委託者が必要と認めた書類	必要数	その都度	

9 疑義

本仕様書の内容または業務の履行に関し疑義が生じた場合は、委託者と十分協議を行うこと。

10 検査および支払い

業務対象編成すべての作業が終了し業務完了届が提出され、委託者が行う完了検査に合格した後に総額を支払うものとする。

11 札幌市鉄道事業安全管理規程の遵守および運輸安全管理の徹底

(1) 受託者は安全第一の意識を持って、札幌市鉄道事業安全管理規程で定める事項を遵守すると共に輸送の安全を確保するため社内体制を整備し、作業従事者にはこれを徹底すること。

(2) 受託者は委託者の輸送事業に係る安全管理体制に積極的に協力をすると共に、輸送の安全を確保するため、委託者との綿密な連携を図ること。

12 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力

(1) 受託者は、作業に従事する者へ本市の「環境方針」(別添)を周知し、本市の環境配慮に対する取組みについて理解させること。

(2) 受託者は、本市環境マネジメントシステムに合致する形で業務を遂行すること。

区分			整備項目	整備基準	全	重	整備内容
六	ホ	(2)	1 灯及び灯具の損傷の有無及び取付状態の良否		●	●	1 目視
			2 ソケット及び端子接続部、口出し線の状態の良否		●	●	2 (1) 目視 (2) 清掃 (3) 増締
車体及び車室	照明装置	前照灯、尾灯	3 前面ガラス、レンズの汚損、損傷の有無		●	●	3 (1) 目視 (2) 清掃
			(追加) 4 LED点灯状態の良否 (1) 輝度にバラツキがないこと (2) 全体の50%以上の消灯で交換		●	●	4 目視
へ	暖房装置	客室用ヒーター	1 外枠、遮熱板の取付状態及び破損、変形、変色の有無	1 各部のゴミ・ホコリの有無	●	●	1 (1) 目視 (2) 清掃
			2 発熱体、口出線の断線、短絡、変色の有無及び取付状態の良否		●	●	2 (1) 目視 (2) 触手 (3) 増締
			3 絶縁物の焼損、き裂、汚損の有無		●	●	3 (1) 目視 (2) 清掃
			4 絶縁特性の良否	4 絶縁抵抗試験 0.1MΩ以上 (500Vメガー)	●	●	4 測定
			5 接触器は、四口(3)による		●	●	5

区 分			整 備 項 目	整 備 基 準	全	重	整 備 内 容
六 車体及び車室	へ 暖房装置	乗務員室用ヒーター	1 外枠、遮熱板の取付状態及び破損、変形、変色の有無	1 各部のゴミ・ホコリの有無	●	●	1 (1) 目視 (2) 清掃
			2 発熱体、口出線の断線、短絡、変色の有無及び取付状態の良否		●	●	2 (1) 目視 (2) 触手 (3) 増締
			3 絶縁物の焼損、亀裂、汚損の有無		●	●	3 (1) 目視 (2) 触手
			4 絶縁特性の良否 (追加) 6 切換えスイッチの損傷の有無及び切換え動作の良否を確認する	4 絶縁抵抗試験 0.1MΩ以上 (500Vメガー)	●	●	4 測定 6 目視、切換え動作確認
	ト 送風装置	ラインデリア	1 本体、コネクタの損傷、取付状態の良否		●	●	1 (1) 目視 (2) 清掃 (3) 触手
2 接触器は、四口(3)による (1) 外観、絶縁物の汚損、損傷、劣化の有無 (2) 可動部及び接触部の汚損損傷の有無及び可動部の動作の良否及び競合の有無 (3) 各部の取付状態の良否 (4) 端子、わたり線、編導線の損傷の有無 (5) コイル特性の良否及び断線、短絡、変色の有無 (6) 接触部の接触状態、摩耗、荒損、変色、及び接触圧力、オーバートラベルの適否				●	●	2	
		乗務員用ファン	1 本体、コネクタの損傷、取付状態の良否		●	●	1 (1) 目視 (2) 清掃 (3) 触手

環境方針

1 基本理念

札幌市役所は、地球環境への負荷を継続的に低減するため、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減など、環境配慮取組の推進に努めてきました。

近年、気象災害をはじめとした気候変動の影響が深刻化する中、脱炭素社会の構築に向けて、気候変動対策は大きな転換期を迎えています。

札幌市においても、地球の平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求するというパリ協定の目的を踏まえて、2050年の目標に「温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ゼロカーボン）」を設定するとともに、2030年についても高い目標を掲げて温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいくこととしました。

札幌市役所は、市域の温室効果ガスの約6%を排出する市内最大級の事業者であり、自ら排出量の削減に率先して取り組む姿を市民・事業者へ示していくことが必要です。

そのため、徹底した省エネルギー対策を進め、そのうえでどうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギーへと転換していくことを基本的な方向として、環境マネジメントシステムによる継続的改善を図り、札幌市役所の事務事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を着実に削減していきます。

また、国連「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点を踏まえ、環境配慮取組を推進することで、温室効果ガス排出量の削減のみにとどまらず、経済、社会分野の統合的解決を目指すとともに、市民・事業者・行政が協働し、一体となって脱炭素社会に向けて取り組むことで、「心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン都市『環境首都・SAPPORO』」の実現を目指してまいります。

2 基本的方向

全ての部局は、所管する事務事業について、環境に関する法令を遵守することはもとより、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮取組を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、以下の項目に重点的に取り組みます。

- 1 徹底した省エネルギー対策を進めます。
- 2 再生可能エネルギーの導入を拡大します。
- 3 移動における脱炭素化を進めます。
- 4 廃棄物の発生・排出を抑制し、省資源・資源循環を推進します。
- 5 環境負荷の少ない製品やサービスを利用します。
- 6 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します。
- 7 環境問題に関する啓発・教育活動を推進します。

この環境方針による環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させていきます。

令和3年4月1日

札幌市長 秋元克広

札幌市環境局